

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年8月3日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は、弱い動きとなっている。
大型小売店販売額は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(5月)
公共工事請負金額、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数は前年を下回った。(6月)
- **産業面**・・・鉱工業生産は、一部に持ち直しの動きがみられる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上ったが、原指数は前年を下回った。(5月)
- **雇用面**・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(5月)
求人倍率は、新規は前月を上回ったが、有効は前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(6月)

○需要面の動き

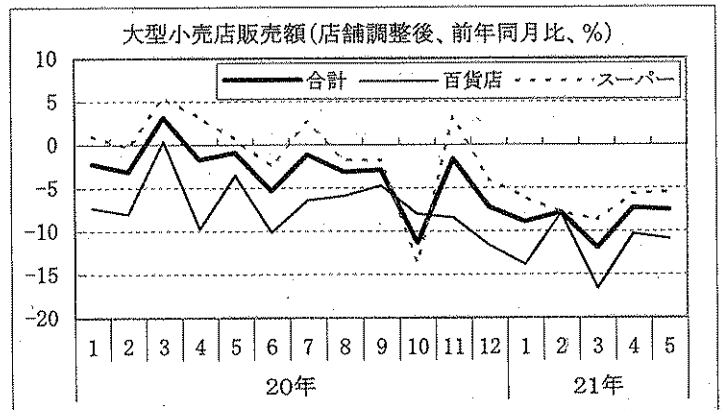
大型小売店販売額(5月)

全店舗の販売額は、49億400万円(前年同月比7.5%減)と14か月続いて前年を下回り、店舗調整後も14か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	490,400	▲7.5	(▲7.5)
百貨店	175,200	▲10.9	(▲10.9)
スーパー	315,200	▲5.5	(▲5.5)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(5月)

32億7,100万円(前年同月比0.9%増)と2か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(6月)

1,625台(前年同月比1.2%増)と11か月ぶりに前年を上回った。普通車、小型車は前年を上回ったが、軽自動車は前年を下回った。

新設住宅着工戸数(6月)

197戸(前年同月比21.5%減)と6か月続いて前年を下回った。持家系(前年同月比18.3%減)、貸家系(前年同月比25.0%減)ともに前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(6月)

21億1,600万円(前年同月比44.0%増)と5か月ぶりに前年を上回った。用途別では、製造業が前年同月比で約20倍、情報通信業が前年同月比で約448倍等であった。

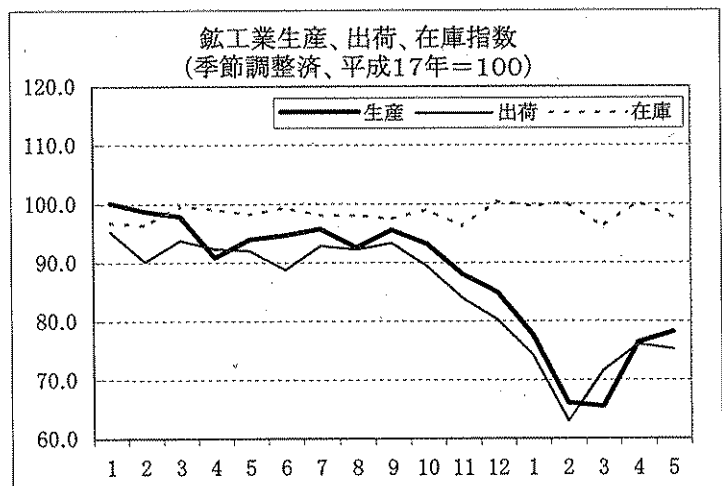
公共工事請負金額(6月)

81億7,800万円(前年同月比21.5%増)と5か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比12.8%増)、県(前年同月比30.3%増)等で前年を上回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(5月)

生産指数(季節調整済)は78.2(前月比2.4%上昇)と2か月続けて上昇となったが、原指数は71.5(前年同月比20.6%低下)と8か月続いて低下した。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが4.0%低下となり4か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが16.9%上昇となり2か月続いて上昇、電気機械が3.5%低下となり3か月ぶりの低下、一般機械が3.2%低下となり2か月ぶりの低下となった。
在庫指数(季節調整済)は97.7と前月比2.6%低下した。



大口需要電力実績(5月)

102,687千kwh(前年同月比26.9%減)と10か月続いて前年を下回り、鉱工業用電力も主要4区分の全てで減少した。

青果物卸売量(6月、鳥取市場)

野菜が1,568t(前年同月比3.8%増)と前年を上回り、果実は1,037t(前年同月比6.8%増)と3か月続いて前年を上回った。

漁獲量(6月、境港)

6,655t(前年同月比2.2%増)と前年を上回った。

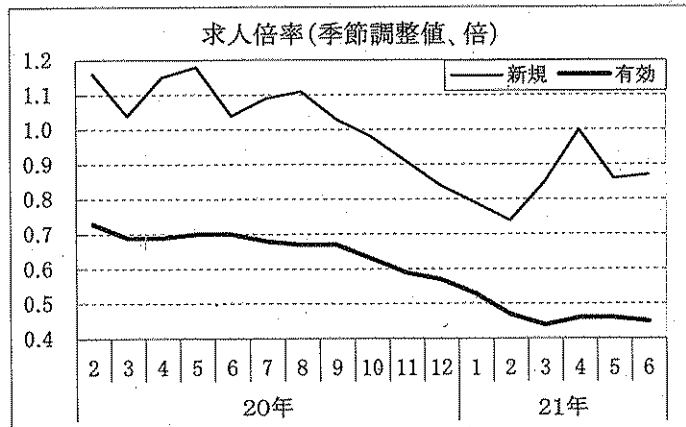
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(6月)

0.87倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.17ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、2,908人(前年同月比12.6%減)と21か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(6月)

0.45倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.25ポイント低下)と0.5倍を割っている。



現金給与総額(5月)

237,232円(前年同月比6.5%減)と5か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、236,373円(前年同月比4.7%減)で12か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(5月)

6.3時間(前年同月比33.2%減)と10か月続いて前年を下回った。主力の製造業は53.1%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比58.1%増)等で前年を上回り、複合サービス事業(前年同月比59.0%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(5月末)

預金残高は、1兆9,273億円(前年同月比2.9%増)と5か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,439億円(前年同月比0.8%増)と33か月ぶりに前年を上回った。

○参考

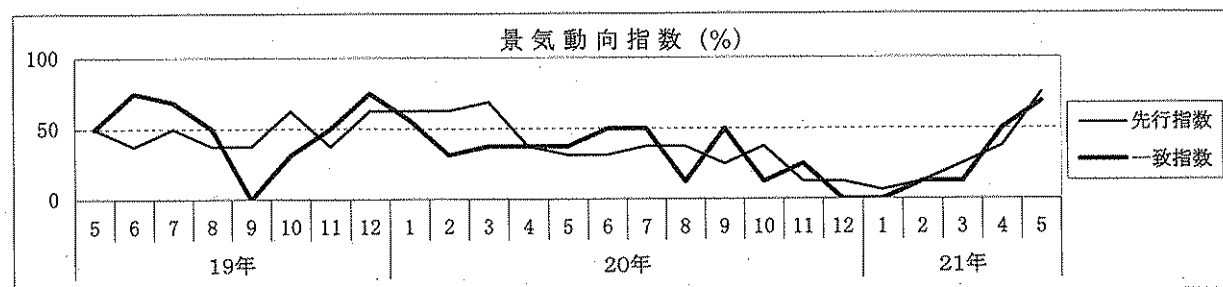
鳥取県景気動向指数(5月)

先行指数75.0%、一致指数68.8%、遅行指数0.0%となった。

先行指数は14か月ぶりに50%以上となった。

一致指数は2か月続いて50%以上となった。

遅行指数は9か月続いて50%を下回った。



企業倒産(6月)

件数は4件(前年同月比63.6%減)で3か月続いて前年を下回り、負債総額は3億1,000万円(前年同月比97.6%減)で5か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(6月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.0となり、前月比(▲0.1%)は低下となり、前年同月比(▲1.8%)も低下した。

鳥取県の推計人口(7月1日現在)

591,550人で、前月と比べて190人(0.03%)減少し、前年同月と比べて3,960人(0.66%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年5月調査)

平成21年4~6月期は、平成21年1~3月期に比べると景気がきわめて不調で、売上高、経常利益が不調となっている。

平成21年7~9月期は、平成21年4~6月期に比べると景気、経常利益が不調となり、売上高はやや不調となる見通しとなっている。